

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成13年12月17日 第37報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2800		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	12		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	820		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	14		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	88		
(珪) <i>Synedra acus</i>	30		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	26		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	70		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	140		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	60		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	80		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	10		
(緑) <i>Spirogyra sp.</i>	11		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	7		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	12		
(緑) <i>Cosmocecladium constrictum</i>	48		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	2850	64.9	29.5
(珪) 珪藻綱	1060	24.2	15.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.2	0.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	5.5	7.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	228	5.2	47.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	4388	総体積	2.51E+06
種類数	20	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)  
注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)  
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

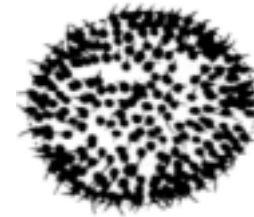
## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	400

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnidium fluviatile</i>	120

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

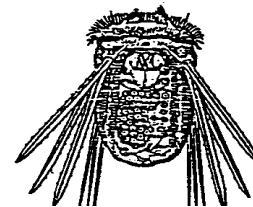
### 植物プランクトン第1優占種



***Uroglena americana***  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

### コメント:

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因となるウログレナが先週より増加し、2800細胞/ml計数されたが、群体数換算では9群体/ml程度であった。動物プランクトンは、引き続きハネウデワムシが最も多く計数された。